



京女で身につくチカラ ～ジェネリックスキル測定テスト結果～

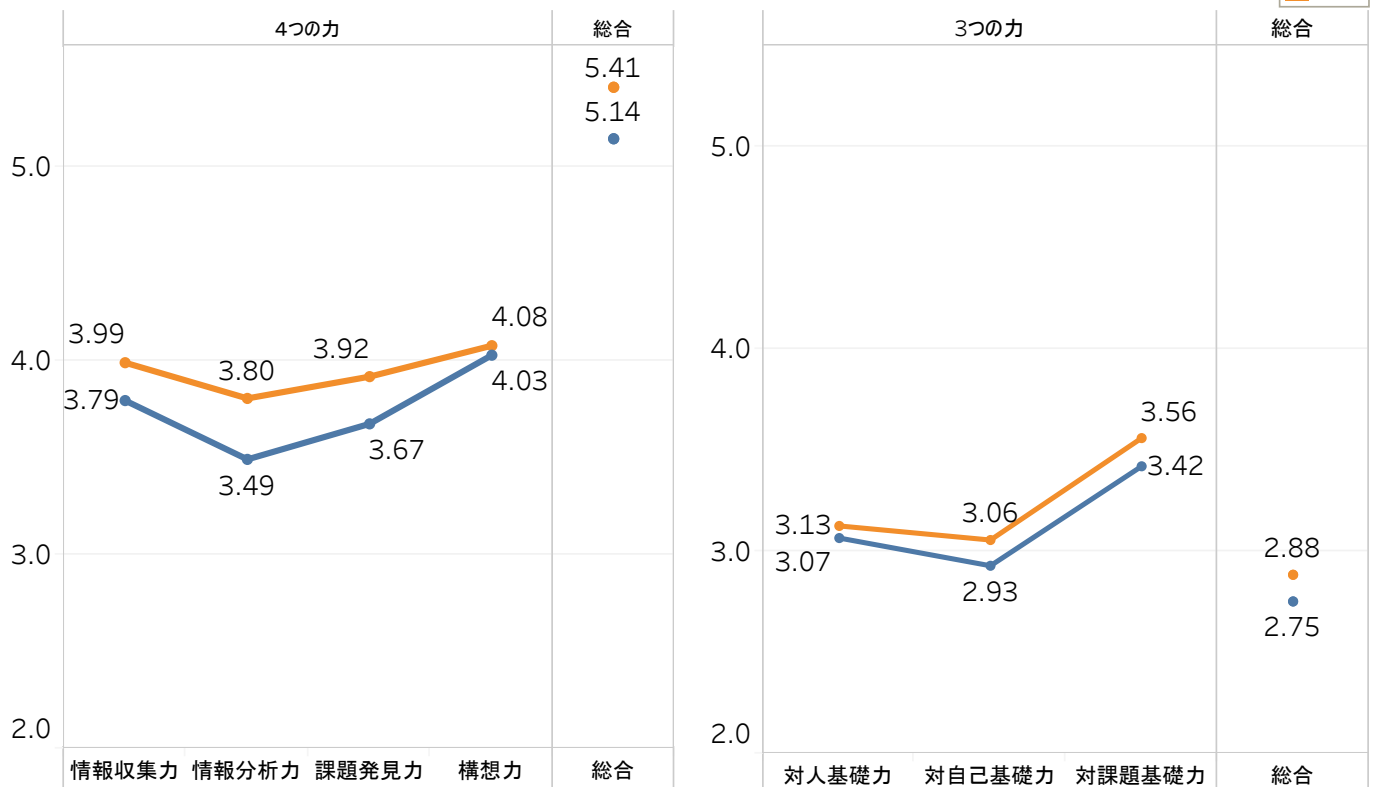
“ジェネリックスキル”とは、専攻・専門に関わらず、大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・志向のことです。“京都女子大学”で測定をしているジェネリックスキルは、リテラシー（知識を活用して問題を解決するスキル）とコンピテンシー（人と自分にベストな状況をもたらそうとするスキル）の2つから構成されています。

“京都女子大学”では、このジェネリックスキルを1回生時と3回生時に測定し、学生一人ひとりのスキルを可視化する取り組みを行っています。
今回は、1回生時と3回生時の測定結果の差から「身についたチカラ」をご紹介します。

リテラシー
(知識を活用して問題を解決するスキル)

コンピテンシー
(人と自分にベストな状況をもたらそうとするスキル)

受験学年
■ 1
■ 3



<成長の機会>

～卒業時アンケート(2020.3卒)で聞いた成長の機会ベスト3～



卒業論文・制作を仕上げたこと(1)



就職活動(2)



学内の先輩・友人との人間関係(4)

学部別伸びた能力(コンピテンシー)ベスト3

学部	1位	2位	3位
文学部	課題発見力 (0.32)	自信創出力 (0.18)	協働力 (0.14)
発達教育学部	課題発見力 (0.24)	実践力 (0.18)	自信創出力 (0.05)
家政学部	課題発見力 (0.31)	統率力 (0.23)	自信創出力 (0.22)
現代社会学部	自信創出力 (0.35)	実践力 (0.31)	感情制御力 (0.28)
法学部	課題発見力 (0.27)	実践力 (0.24)	協働力 (0.10)

<まとめ>

“京都女子大学”では、リテラシーおよびコンピテンシー共に各学部や各チカラで、伸長の大きさに学部差はあるものの、大学全体で見ると、どのチカラも伸びがみられます。

卒業時アンケートの「成長の機会」を問う結果では、卒業論文・制作や就職活動と本測定テスト3回生受験時以降のイベントが挙げられており、今回紹介した結果から更に成長する機会が訪れます。